

大規模災害が起きると…

市内の様子は…



出典：鎌倉市災害廃棄物処理実施計画 熊本地震（H28.4） 出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル 平成26年8月豪雨

大規模災害は、市内または隣接する市で、震度5強以上の揺れが長く続き、家屋内外の被害やライフラインの寸断などの大きな被害を伴う地震などを指します。

出る「ごみ」は…



片付けごみ し尿 がれき など

災害時のごみの分別は、迅速な復旧・復興作業やごみ処理を行う上で欠かせません。

また、衛生環境の悪化、火災の発生、交通への支障などが生じないよう、市の案内に沿った排出に、ご理解とご協力をお願いします。

大規模災害発生時のごみの出し方とごみの収集（当日～1か月間）

状況	当日	3日目	1週間	1か月
市民の方へのお願い	<ul style="list-style-type: none"> 燃やすごみ（生ごみなど） 燃えないごみ 資源物 	家屋の倒壊 道路の寸断 家屋内外の壊れたものは、できる限り分別し、自宅でごみを保管する。 大規模災害発生時は、3日間ごみを出すことができません。 ※情報収集と体制構築のため	「片付けごみ」や「し尿」、 「生活ごみ」の排出 市の収集再開の案内に沿ってごみを出す。排出場所・収集日を確認する。 ※災害時は、道路状況などの影響で、平常時とは排出場所が異なる場合があります。	家屋の解体などの開始による 「がれき」の発生 市の案内に沿って、収集品目を出す。
	<ul style="list-style-type: none"> 非常用の携帯トイレ 	上下水道の断水などで自宅トイレが使用できない期間は、非常用携帯トイレなどを使用し、汚物は適切に処理する。非常用携帯トイレは燃やすごみへ。		
	<ul style="list-style-type: none"> 片付けごみ（腐敗しないものに限り） がれき 	搬入先となる仮置場が開設されるまで、道路や空き地に無秩序に排出しない。	壊れた家電や家具、家屋の損壊によるごみを、市が指定する場所（仮置場）に搬入する。	
市の業務（ごみに関する主な内容）	市から市民への情報提供 	災害時は、ホームページ、Twitter、市内の掲示板、広報紙、ラジオなど様々な方法で情報発信します。	<ul style="list-style-type: none"> 腐敗しやすい「燃やすごみ」から優先的に、収集を再開します。 資源物の収集は2～3週間程度後に再開します。（収集回数は少なくなることがあります。） 	開設した仮置場の場所や受入時間、搬入できるごみの種類・分別などをお知らせします。（ホームページ、Twitter、市内の掲示板、広報紙などでお知らせします。）
	主な業務 ・ごみの収集と処理 	<ul style="list-style-type: none"> 被災状況を確認 関係団体へ支援要請 収集体制の構築 災害廃棄物発生量の推計 	<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理可能量・処理先の見直し 収集の再開 仮置場の開設準備 	<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物の処理 仮置場の管理運営

日ごろ備えておきたいこと ～市民の皆様へ～

● トイレ

災害時には上下水道の損壊が生じると、トイレが使用できなくなります。

災害時に備えて、非常用携帯トイレを用意しておきましょう。

液状のものはなるべく固めてから出してください。携帯トイレがない場合は、破れて汚物が外に出ないように中身をしっかりと包んで出しましょう。



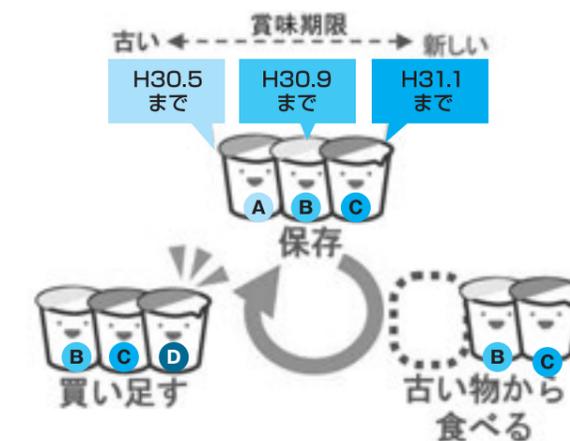
出典：みんなであつこう。みんなの「暮らしやすい」を。

● 非常食

非常食が賞味期限切れになっていたことはありませんか？

非常食は、日常的に食べて、食べたら買い足すという「ローリングストック」で、上手に備蓄しましょう。

<ローリングストック>



● ご近所との助け合い

災害時にはご近所同士の助け合いが重要です。日頃から自治町内会の行事などに参加して近隣の方と顔見知りになっておきましょう。



<ごみの一時保管場所について>

災害時には、粗大ごみやがれきを、市が指定する仮置場に持ち込むことを原則としています。しかし、自治・町内会から要望があった場合、粗大ごみやがれきなど、腐敗しないごみを一時的に保管する場所の設置を認めています。自治・町内会の集まりなどで、空き地など一時的に仮置きできる場所を話し合っておきましょう。



出典：災害廃棄物対策フォトチャンネル

● ごみと資源物

災害発生からおおよそ3日間はごみを自宅で保管しなければなりません。

普段からごみや資源物をできるだけ出さない生活を心がけましょう。



<生ごみ処理機を使おう>

災害時、ごみの収集が始まるまでの間、生ごみを処理するのに生ごみ処理機が役に立ちます。非電動型なら、電気が止まってしまっても大丈夫。日頃から生ごみ処理機を使ってみましょう。非電動型には90%助成があります。



生ごみ処理機購入費助成制度HP



● 計画の詳細を知りたい

鎌倉市災害廃棄物処理計画（H30.3改訂）の詳細は鎌倉市ホームページにてご覧いただけます。

HP <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>